

「こころの元気+」だけじゃない！ コンボを知っていただくためのニュースが満載。

# コンボNEWS

第5号  
No.5

2016年  
8月15日 発行

認定特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構 〒272-0031 千葉県市川市平田 3-5-1 トノックスビル 2F Tel.047-320-3870 / Fax.047-320-3871 <https://comhbo.net>

## 「コンボNEWS」第5号をお届けします。

「こころの元気+」だけじゃないコンボを知っていただくために、年に2回ほど発行します。コンボの活動を紹介することで、一人でも多くの方に応援いただけますようこれからもがんばります。それぞれの事業については、ホームページをご覧ください。

### 相模原事件で、報道機関に緊急要望

2016年7月26日未明、神奈川県相模原市で起きた障害者施設殺傷事件の報道について、コンボでは、事件当日にマスコミ各社に緊急要望書を提出しました。

事件の背景・動機などの詳細が不明な段階での精神障害に関連づけた報道を危惧し、緊急要望を行いました。

また、この事件の報道を見聞きした皆さんのお気持ちを書いたり、つらい気持ちになってしまった人々へのメッセージを伝える場をコンボのサイトに設けました。

最後になりましたが、このたびの相模原市で起きた事件について、被害にあわれた方の一日も早い回復を願うとともに、亡くなられた方々に対し深く哀悼の意を表します。またご家族の皆さまの驚きや悲しみをお察し申し上げます。

▶ [https://www.comhbo.net/?page\\_id=10845](https://www.comhbo.net/?page_id=10845)

### 厚労省に要望書を提出

コンボは、2016年6月21日に、抗精神病薬ゼプリオンの利用者のうち、85人が死亡している問題について、要望書を厚生労働省に提出しました。

ゼプリオンは、2013年11月に発売された持続性の抗精神病薬です。1回の注射で、その効果がおよそ1か月持続するというものです。

この薬は、発売から4か月半たった2014年4月時点で、死亡者数が17人になっていることがわかり、厚生労働省の指示によって、2014年4月17日に安全性速報が発出されました。そのため、厚生労働省ならびに発売元のヤンセンファーマ株式会社のみならず、使用する精神科医たちには、特に適正な使われ方が求められている薬といわれています。

コンボでは、死亡者数が増えているか、定期的にチェックを

していました。これは、独立行政法人医薬品医療機器総合機構（通称：PMDA）のホームページ上で公開されている副作用の報告書をチェックすることで、死亡者数がわかるものです。このチェックで、2016年5月31日時点で、死亡者数が83人、6月中旬頃には、死亡者が85人になっていることがわかりました。そこで、コンボでは、6月21日に、これ以上、死亡者が増えないように、要望書を厚生労働省の安全対策課に提出しました。

厚生労働省への要望書等は、コンボのホームページをご覧ください。

要望書提出後、記者会見を行いました。以下、各メディアで要望書の提出が報道・掲載されました。

○共同通信（各地方紙に掲載）、産経新聞、日本経済新聞、朝日新聞デジタル、テレビ朝日（テレ朝news）、FNNニュース（フジテレビ）、毎日新聞、読売新聞 Online（ヨミドクター）、福祉新聞、しんぶん赤旗、など。

▶ [https://www.comhbo.net/?page\\_id=10386](https://www.comhbo.net/?page_id=10386)

### 週刊現代に抗議！

講談社が出版する「週刊現代」7月9日号の特集「医者に言われても断ったほうがいい『薬と手術』」特集のなかにおいて、「衝撃の事実が明らかに 統合失調症の薬で85人死んだ」および「『うつ病』と『統合失調症』は薬を飲めば飲むほど悪くなります 認知症も考え直したほうがいい」という記事が掲載されました。

この2つの記事においてコンボの理事・職員の発言が著しく歪曲・加工されて掲載され、さらにこれらの発言が記事の60%を占める形で無断で使用されていました。

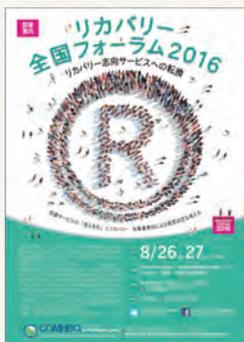
このように発言者の意図とは大幅に異なる歪められた発言が、あたかもコンボの見解と受け取れるかのように編集されているのみならず、根拠のない記事によって、読者が不安になる

ような内容が掲載されていることは、たいへんに遺憾であり、コンボでは講談社および「週刊現代」編集部に対して厳重に抗議しました。

抗議文の内容および関連資料はコンボのサイトをご覧ください。

▶ [https://www.comhbo.net/?page\\_id=10599](https://www.comhbo.net/?page_id=10599)

## リカバリー全国フォーラム2016



分科会20、公募分科会2、シンポジウムなどの多彩なプログラムはいつものとおり。

毎回約1,500人が一堂に会し、「リカバリー」という言葉や考え方に逢い、人と仲間と語り合う2日間。今年は8月26・27日に開催します。

大好評のトークライブは、リカバリーフォーラムの参加者なら誰でも舞台上上がり、言いたいことを言う場です。今年は、どんな発言があるのか？ 今から楽しみです。リピーターとして毎回登壇している人も、人前で

話すのは始めてという方も、大歓迎です。それぞれの気持ちをこのトークライブでぶつけてください。

また、記念講演は、TBSテレビ報道局の小嶋修一氏。がんサバイバーとしての経験を踏まえ、医療サービスの「見える化」とリカバリーについて語っていただきます。ほか、分科会20、公募分科会2、シンポジウムなどの多彩なプログラムはいつものとおり。

▶ [https://www.comhbo.net/?page\\_id=102](https://www.comhbo.net/?page_id=102)

## 第13回リリー賞は9月募集開始



当事者部門には副賞100万円、支援者部門には50万円が授与。

精神障害者自立支援活動賞（リリー賞）では、優れた活動をしている精神障害者もつ人や支援者の方々を表彰しています。当事者部門受賞者には副賞100万円、支援者部門には50万円が授与されます。今年度もまた、9月から12月末までを募集期間とします。

詳しくはコンボのサイトをご覧ください。

## こんぼ亭月例会 大阪で初興業！

メンタルヘルスに関する最新的话题をとりあげ、毎回多彩なゲストをお招きして行う講演会シリーズです。後半のトークライブでは、参加者の皆さんから寄せられた質問にお答えしていきます。

ご案内役は、こんぼ亭「亭主」伊藤順一郎（コンボ共同代表；メンタルヘルス診療所しっぽふぁーれ）がつとめます。

今年度下半期は、大阪からスタート。10月15日に糸川昌成先生を迎えて、西日本ではじめてのこんぼ亭となります（会場：大阪社会福祉指導センター）。

以下、日程（いずれも土曜日）と出演者（予定）は次のとおり。11月26日（出演者交渉中）、12月17日；夏苺郁代先生・菊地俊暁先生、1月21日；野村総一郎先生、2月25日；加藤忠史先生、3月18日（出演者未定）。内容は目下企画中です。ご期待ください。

なお、こんぼ亭の最新情報は、コンボのサイトやtwitter、facebook、「こころの元気+」でご確認ください。また、コンボのメルマガ（コンボお知らせメール便）に登録していただくと、最も早く開催情報を入手できます。



10月15日に糸川昌成先生

### 「コンボ亭」最新情報は WEB や SNS で！

NPO コンボ  検索 <https://comhbo.net>



FOLLOW US ON TWITTER  
@comhbo



LIKE US ON FACEBOOK!  
facebook.com/comhbo

## 元気+サークルズ

「元気+サークルズ @ コンボ」は、「言いつばなし聞きつばなし」のグループのこと。コンボ賛助会員なら誰でも参加できます。原則として毎月第1木曜日にコンボの会議室で行っています（「こころの元気+」でご確認ください）。

「元気+サークルズ@清瀬」は、東京都清瀬市を中心に毎月開催しています。会場等は、下記サイトでご確認ください。

▶ <http://www.ac.auone-net.jp/~yi434343/>

その他、各地で行われている「言いつばなし聞きつばなし」スタイルのピアサポートグループ開催情報、全国のピアサポートグループ一覧なども、コンボのウェブサイトをご覧ください。（掲載ご希望の方は、pnpp.comhbo@gmail.com までお問い合わせください。）

## 家族と家族会が 元気になる! 「家族による家族学習会」

家族同士が学びあい語りあう家族による家族学習会は、家族のピアサポート活動です。それは、家族会の原点ともいえる活動です。コンボ設立以来取り組んできたこの家族による家族学習会普及事業は、今年度から公益財団法人全国精神保健福祉会連合会（みんなねっと）が取り組むことになりました。コンボもちろん協力しています。コンボのサイトでは、家族による家族学習会を動画で紹介しています。ぜひご覧ください。

## P.N.P.P（ピアサポートグループ普及事業）

「言いつばなし聞きつばなし」のピアサポートグループを通して当事者活動のネットワークを広げていこうという試みです。昨年度まで実施していた「ピア・ネットワーク・プロモーション・プロジェクト（P.N.P.P）」は、今年度、補助金が打ち切られたこともあり、事業の見直しを進めています。今後は、各地の皆さまとのコラボでピアサポートグループの普及をはかっていきたいと考えています。ぜひ実施してほしいなどのご要望があれば、ご相談ください。

## 心理教育ツールキットプロジェクト

家族が知識を得て適切な対応をすることで、当事者自身の回復に役立つことが知られています。病院や保健所などで「家族教室」や「研修会」として行われている心理教育が、なるべく早い段階で家族に行われると、不必要なまわり道が少なくなるかもしれません。コンボでは、専門職が行う心理教育の普及のために、心理教育家族教室ネットワークとの共催で、毎年2回の標準版研修会などを行っています。

## 「本人・家族のための 新しい! 統合失調症講座」を発行



### 11年ぶりの全面改定。リカバリーの理解を深める

このDVDは2015年までコンボが販売をしていた「本人・家族のための統合失調症講座」（制作＝全家連、2004）を全面的に改定したものです。

2004年版では、まだリカバリーという考え方は紹介されていませんでした。今回のDVDは、リカバリーを考え方の根底に据えています。ただ単に薬とリハビリを中心とした回復をめざすのではなく、自分自身が人生の方向性を主体的に考えていくことの大切さが随所に盛り込まれています。統合失

調症は再発をしやすい病気ともいわれますが、病気に関する知識をもち、病気だけではなく、自分の生き方を考えていくことで、健康な部分をどんどん増やしていくことができます。

出演している医師・当事者・家族も第一線で活躍している人ばかりです。ご自身のリカバリーについて理解を深めるために、ぜひこのDVDをご活用ください。



DVD:220分

5000円+税(送料別)

- PART1 統合失調症を知る  
統合失調症の基礎知識（22分）
- PART2 医療の手立てを活かす（46分）
- PART3 社会資源を活用して  
地域で暮らす（45分）

### ●特典映像

- ・本人の声（59分）NHKエンタープライズ主催  
フォーラム「統合失調症を生きる」より
- ・家族の声（12分）  
岡田久実子さん（もくせい家族会）
- ・対談（36分）「リカバリーを考える」  
宇田川健 × 伊藤順一郎

## 「こころの元気サロン ナビゲーションブック」を作成

2012年度から2015年度まで、日本財団からの助成により、岩手・宮城・福島で被災地支援事業を展開してきました。その事業の一つとして、岩手で実施してきた、被災した沿岸部のピアグループ支援のための「こころの元気サロン」の活動報告と実施のための資料集として、「こころの元気サロンナビゲーションブック」



を作成しました。地域で当事者のための活動を始めた人、活動を応援したい人、活動に参加したい人をつなぐためのヒントになります。

コンボのサイトでダウンロードできますので、ぜひご覧ください。

## 出版&amp;DVD

全国のイベントや研修会で、書籍&DVD案内を配布していただいています。配布にご協力いただける方は、ご連絡ください。



## ▶ 新刊の出版物 &amp; DVD

## 科学者が脳と心をつなぐとき ～父と母と私が織りなす50年の物語～

糸川昌成・著

(東京都医学総合研究所病院等連携研究センター)



いくつかの大学と研究室を体験した筆者が大切にしているのは、異なる分野の人が交流する環境。さまざまな分野の人たちが集まった糸川研究室のチームが発見したのは、脳ではなく体に作用するまったく新しい統合失調症の薬だった。

第1部～第2部は、最先端の遺伝子研究への取り組みや、統合失調症の原因を解明しようとする糸川チームが発見した新しい統合失調症治療薬開発の物語。

第3部～第4部は、糸川先生と家族のリカバリーの物語。大人になって初めて知った母親の統合失調症。亡き母の人生と症状を調べるなかで、「すべての症状には意味がある。その人の人生の文脈を理解したときに、人の尊厳が回復する。しかし、薬は尊厳を回復させることはない。その人がかけがえのない人間として丁寧に遇されたとき、尊厳は扱われた人と扱った人との間に共鳴しあうものだ」と気がつく。

臨床家であり、科学者であり、家族でもある筆者が脳と心をつなぐやうに分かりやすく解き明かす感動の一冊。

1400円+税

(送料別)

四六判 144頁

- 第1部：過去と今をつなぐもの
- 第2部：ミクロの世界から病気の原因を解明する旅
- 第3部：家族のリカバリー
- 第4部：私の研究と臨床

※コンボのサイトで、糸川先生の動画を公開しています。  
「著者・糸川昌成先生「科学者が脳と心をつなぐとき」を語る」



**COMHBO**

認定特定非営利活動法人  
地域精神保健福祉機構

Community Mental Health & welfare Bonding Organization

〒272-0031 千葉県市川市平田 3-5-1 トノックスビル 2F  
Tel.047-320-3870 / Fax.047-320-3871

NPO コンボ

検索

<https://comhbo.net>



FOLLOW US ON TWITTER  
@comhbo



LIKE US ON FACEBOOK!  
facebook.com/comhbo

## 多彩な活動をしています

上記の事業を常勤職員7名で担当しています。職員以外にも大勢の方からご協力や励ましをいただき、運営してきました。このような活動をさらに発展させ、日本の精神保健医療福祉がリカバリー志向になり、精神保健医療福祉のレベルが向上していくよう願っています。

## コンボの活動をご支援ください

コンボの活動をご支援いただくのに最も効果的な方法は、賛助会員になっていただくことです。賛助会員費によって職員を雇用し、事業を実施しております。

最近は、ご寄付をくださる方も増えており、とても感謝しております。どうぞよろしくお願いたします。

## 【賛助会員】年会費は、5,000円です

賛助会員の方には、毎月「こころの元気+」をお送りするほか、コンボ主催のイベント・研修会等での参加費が割引になります。お申込みは、電話・FAX・ホームページでお受けしています。住所・氏名・電話番号をお知らせください。

また、郵便局の郵便振替用紙に、住所・氏名・電話番号をご記入の上、年会費5,000円をお振り込みいただいても結構です。

郵便振替：00230-7-81310  
加入者名：コンボ

## コンボは認定 NPO 法人です

コンボは、認定NPO法人ですので、寄付金は、確定申告をすることで、所得税・都道府県民税・市町村住民税の控除の対象になります。寄付金から2,000円を引いた額の最大50%（所得税40%+住民税10%）が還付されます。詳しくはコンボのサイト（TOP > 応援するには > 寄付を通じて応援する）をご覧ください。

また、各企業さまからのご寄付もお受けしております。ぜひコンボの活動にご支援をお願いします。

## 【ご寄付の方法】

郵便局の郵便振替で、お振り込みください。また、銀行・インターネットバンキングなどの金融機関もご利用いただけます。領収書を発行いたしますので、必ずお名前、ご住所、電話番号をお知らせください。

郵便振替：00150-3-372934

加入者名：特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構

ゆうちょ銀行019（ゼロイチキュウ）店

当座預金：0372934

加入者名：特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構